

報道関係各位
プレスリリース

2017年7月5日
一般財団法人 流通システム開発センター
株式会社 マーチャンダイジング・オン

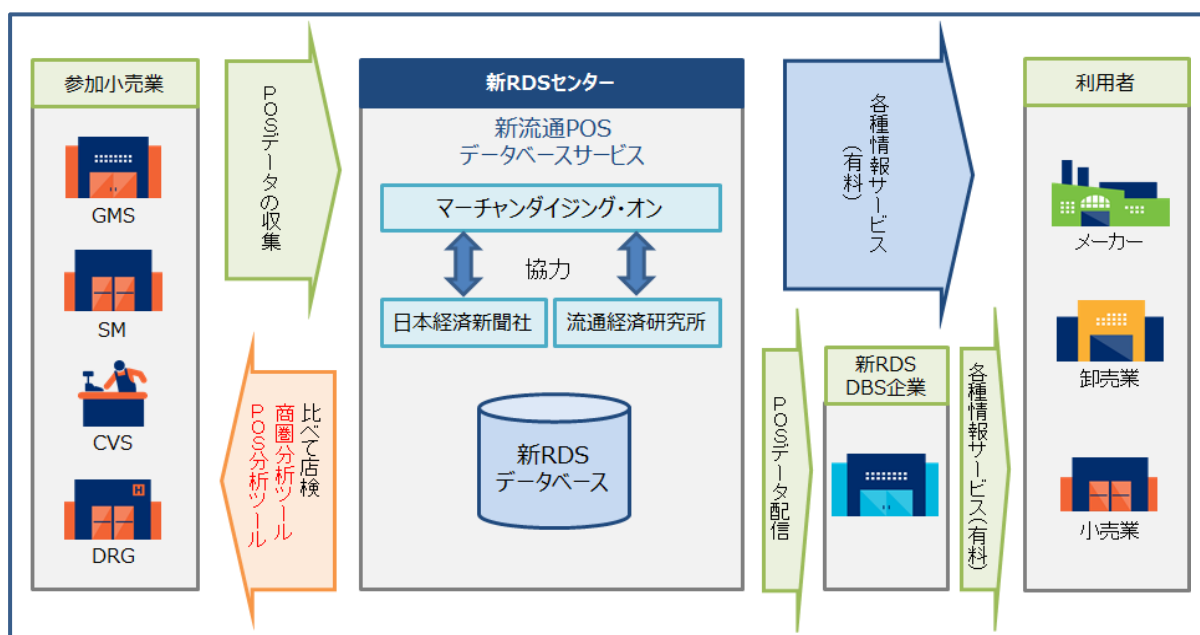
流通 POS データベースサービス (RDS) の事業譲渡について

一般財団法人流通システム開発センター（以下「流開センター」）と株式会社マーチャンダイジング・オン（以下「マーチャンダイジング・オン」）は、民間企業による POS データのより一層の利用拡大とサービスの向上を目指して、2018年3月31日に、流開センターが運営する流通 POS データベースサービス※¹（以下「RDS」）をマーチャンダイジング・オンへ事業譲渡する契約を2017年6月30日に締結しました。

マーチャンダイジング・オンは、現 RDS に参加し利用者に POS データサービスを提供する企業（DBS 企業）の一社であり、RDS の機能を引き継ぐとともに新たなサービスを加え、2018年4月1日より「新 RDS」としてサービスを開始するよう準備を進めています。

「新 RDS」において、マーチャンダイジング・オンでは、同じく現 RDS の DBS 企業である株式会社日本経済新聞社（以下「日本経済新聞社」）、公益財団法人流通経済研究所（以下「流通経済研究所」）の協力を得て事業を運営します。この3社がノウハウを持ち寄ることにより、相乗効果を発揮し、これまで以上に価値のあるマーケットデータを提供できます。

新 RDS の概要



※ 1 : RDS について

RDS は、流開センターが、民間による POS データサービス事業の確立と小売業から卸売業、商品メーカーに至る POS データ利用の促進を目指し、研究、実証実験を経て 1988 年から運営を継続してきたものであり、POS データベースの先駆けとなった仕組みです。

新 RDS の運用について

新 RDS では、現 RDS の運用もそのまま引き継ぎますので、参加小売業から新 RDS への POS データ提供は現状のままで変更ありません。

新 RDS サービス（無償）について

新 RDS に POS データをご提供いただける小売業へは、特典として、国勢調査・年収データが標準で付与されている「商圈分析ツール」と、市場や店舗間でのギャップ分析が可能な「POS 分析ツール」を無償で提供する予定です。地域のニーズやトレンドに合わせた効率的なマーチャンダイジング戦略の策定にお役立ていただけます。

現 RDS について

現 RDS は、2018 年 3 月 31 日までは、従来通り流開センターが運営しますので、参加小売業から流開センターへの POS データ提供、流開センターから DBS 企業への POS データ配信ともに変更はありません。

現 RDS と事業譲渡に関するお問い合わせ

一般財団法人 流通システム開発センター RDS 担当
〒107-0052 東京都港区赤坂 7-3-37 プラース・カナダ 3 階
TEL: 03-5414-8515 FAX: 03-5414-8514
E-mail: rdsinfo@dsri.jp

新 RDS に関するお問い合わせ

株式会社マーチャンダイジング・オン 新 RDS 事務局
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-35-2 AD 高田馬場ビル 2 階
TEL: 03-5332-6676 (代表) FAX: 03-5332-5299
E-mail: rds_support@mdingon.com

以上